

はしがき

国立学校財務センターでは、国立大学の法人化の検討に資するため、平成11年7月以来、「大学の設置形態と財務システムに関する調査研究」を実施し、その成果を順次公表して、関係各位の参考に供してきた。

本年度は、国立大学法人制度の枠組みが明確になったことを考慮し、法人化に伴う各大学の学内体制の構築に資することを願って、「国立大学法人マネジメントシステムに関する調査研究」を実施することとした。

国立大学法人制度は、各国に例を見ないユニークな制度であるが、先進各国の中では、イギリスの大学の管理運営形態に一定の類似点があり、かつ、大学のマネジメント改善のため、改善指針、模範事例などが公表されつつあることに着目し、イギリスの大学を参考にして研究を進めることとした。

具体的には、大学等への政府資金の交付とその有効活用について責任を負うH E F C E（高等教育ファンディングカウンシル）の作成した文献資料等から適切なものを選択し、研究組織のメンバーが分担翻訳して検討を進めつつある。

研究はなお続行中であるが、本書は、国立大学法人法が成立し、各大学の学内システムの構築が本格化しつつあることにかんがみ、時宜を失せず関係各位のご参考に供するため、とりあえず、これまでの翻訳、検討を了したものについて、本センター研究部山本清教授が中心となって、我が国への教訓と示唆を付してとりまとめたものである。

日英大学間の差異は大きく、イギリスの事例をそのまま取り入れることは困難でありまた問題ではあるが、新たな学内システム構築についての貴重な示唆を数多く含んでいることは確かである。本書が少しでも関係各位のお役に立てば幸いである。

この機会に、本研究にご参加ご協力いただき、ご貢献をいただいたすべての研究者、専門家各位に深甚なる謝意を表したい。

平成15年8月

国立学校財務センター所長 大崎 仁